

製品組立説明書



GAMER FIRST・INNOVATION MORE

「Mechanic Master」ブランドは2018年に創立されました。

創立以来「GAMER FIRST・INNOVATION MORE」のコンセプトを掲げています。

ゲーマー視点の要求から始まり、

Mechanic Masterの個性や小型化、ホームファニシングに対する独自の解釈を融和しながら、

Tシリーズ、Cシリーズ、EシリーズなどのPCケース製品を展開してきました。

今では世界中のプレイヤーに広く支持されています。

そのユニークな構造や独創的なフォルム、豊富な機能と徹底した品質管理をもって、

プレイヤーのために面白さと楽しさを創造するため、私達は日々励んでいます。

私達のプロダクトを通してプレイヤーが笑顔と満足感を得られるよう、

専用にカスタマイズされたプロダクトが持つ面白さと楽しさ、

ふさわしさ、そして無限の可能性を生み出すため、私達は努力し続けます。



Mechanic Master
公式ホームページ
www.m-master.cn

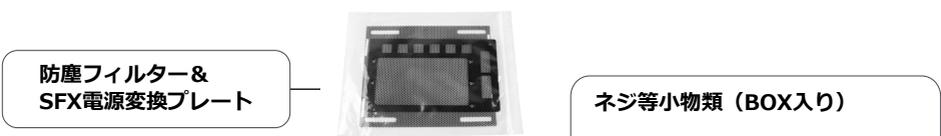


Mechanic Master
公式YouTubeチャンネル
[@MechanicMaster2017](https://www.youtube.com/@MechanicMaster2017)

COOL CUBE SERIES -C28 HORIZON

MATX/ITX vertical and horizontal dual portable handle and side transparent computer case

内容物と製品構成



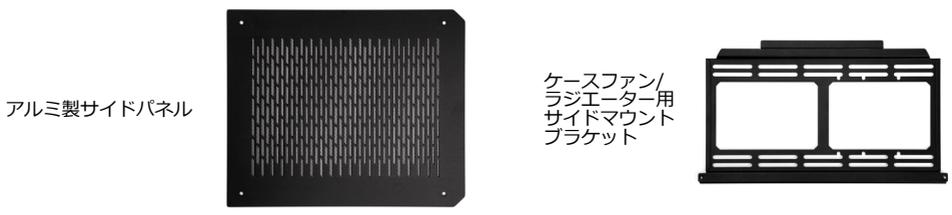
- ネジ等小物類 (BOX入り)**
- 6#32 5mm 皿ネジ
ケース外装パネル&3.5インチHDD &
電源ブラケット用
 - 6#32 6mm 平頭ネジ
マザーボード&グラフィックボード &
電源用
 - M3 4mm皿ネジ
2.5インチHDD & SSD用
 - 6#32 10mm皿ネジ
ハンドル&足パッド取付用
 - 9mm銅柱スペーサー

ケースの組立には必ず
シャーシ用ドライバー (PH2)
をご使用ください。
ネジを押し下げ、反時計回りに
力を入れて緩めます。

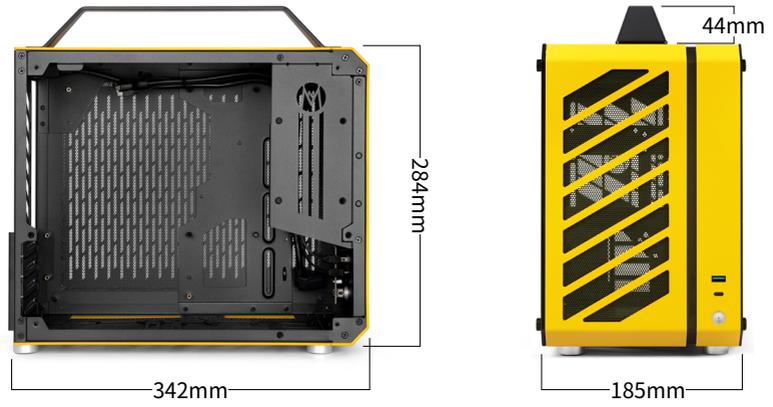


オプションアクセサリ

280mmの簡易水冷クーラーを設置する際は、
オプションアクセサリを使用します。



ケース寸法



本製品の主な特長

- 縦配置、横配置、倒立配置が可能
- 着脱式ハンドルでいつでも持ち出せる
- 最大62mmまでのグラフィックカード
搭載可能
- Mini-ITXケースのサイズでMicro-ATX
ケース並みの互換性
- 最大6基のケースファンを搭載可能
- 空冷CPUクーラー (最大162mm)
の構成でATX電源が使用可能
- 簡易水冷CPUクーラー (最大240mm)
の構成でSFX/SFX-L電源が使用可能
- 高速転送10Gbps対応のUSB Type-C
ポート搭載
- 内部と外部の二重フレームで剛性を確保

ケース仕様



ケース重量	パッケージ寸法
約3.7kg	270(W)×430(D) ×370(H)mm
ケース容量	パッケージ重量
18L	約4.7kg
内装フレーム材質	外装フレーム材質
1.0mm SPCC	2.0mm アルミニウム合金
着脱式ハンドル材質	足パッド材質
4.0mm アルミニウム	アルミニウム合金 & ゴムダンパー

カラーバリエーション

BUMBLEBEE
YELLOW



MOONLIT
SILVER



POLAR WHITE



ELEGANT
BLACK



本製品の組立前に組立手順やご使用する
パーツのサイズを必ずご確認ください

MATX/ITX 空冷セットアップ例

マザーボード：MATX/ITX
CPUクーラー：空冷クーラー（全高162mmまで）
電源：ATX（奥行140mmまで）

グラフィックボード：全長335mm/全幅160mmまで
（前面にケースファンもしくは2.5インチHDDを搭載している場合、
より全長の短いグラフィックボードを使用、あるいはケースファンもしくは
2.5インチHDDを取り除くことを推奨します）

ケースファン/HDD設置位置
トップ：120mmファン x2
リア：120mmファン x1
ボトム：120mmファン x2 or 140mmファン x2 or
120mmファン x1 + 3.5インチHDD
（ビデオカードの厚さに応じて、ボトムケースファンとHDDを取り付ける
かどうか判断してください）

電源背面：2.5インチHDD/SSD x1（7mm厚まで）
電源装飾プレート裏：2.5インチHDD/SSD x1（7mm厚まで）

フロント：80mmファン x1 or 90mmファン x1 or
2.5インチHDD/SSD x1
（ケースファン/HDDの厚みによってグラフィックカードの設置可能長さが
制限される可能性があります）



MATX 240 簡易水冷セットアップ例

マザーボード：MATX/ITX
CPUクーラー：240mm 簡易水冷クーラー（ラジエーター厚み27mm
+ケースファン厚み25mmまで）
電源：SFX/SFX-L

グラフィックボード：全長335mm/全幅160mmまで
（前面にケースファンもしくは2.5インチHDDを搭載している場合、
より全長の短いグラフィックボードを使用、あるいはケースファンもしくは
2.5インチHDDを取り除くことを推奨します）

ケースファン/HDD設置位置
トップ：120mmファン x2
リア：120mmファン x1
ボトム：120mmファン x2 or 140mmファン x2 or
120mmファン x1 + 3.5インチHDD
（ビデオカードの厚さに応じて、ボトムケースファンとHDDを取り付ける
かどうか判断してください）

フロント：90mmファン x1 or 2.5インチHDD/SSD x1
（ケースファン/HDDの厚みによってグラフィックカードの設置可能長さが
制限される可能性があります）

電源装飾プレート裏：2.5インチHDD/SSD x1（7mm厚まで）



簡易水冷クーラーを組み込む際の注意事項

1. 高さが44mm以下のメモリをご使用ください（G.SKILL Trident Z5 RGBで組付け確認済み）
2. SFX/SFX-L電源のみご使用いただけます。
3. 電源配置の関係上、フロントへケースファンを設置する際は厚さ20mm以下の薄型ファンをご使用ください。

ITX 240 簡易水冷セットアップ例

マザーボード：ITX
CPUクーラー：240mm簡易水冷クーラー
電源：ATX（奥行140mmまで）

グラフィックボード：全長335mm/全幅160mmまで
（前面にケースファンもしくは2.5インチHDDを搭載している場合、より全長の短いグラフィックボードを使用、あるいはケースファンもしくは2.5インチHDDを取り除くことを推奨します）

ケースファン/HDD設置位置

リア：120mmファン x1
ボトム：120mmファン x2 or 140mmファン x2 or
120mmファン x1 + 3.5インチHDD

（ビデオカードの厚さに応じて、ボトムケースファンとHDDを取り付けるかどうか判断してください）

フロント：90mmファン x1 or 2.5インチHDD/SSD x1
（ケースファン/HDDの厚みによってグラフィックカードの設置可能長さが制限される可能性があります）

電源装飾プレート裏：2.5インチHDD/SSD x1（7mm厚まで）



簡易水冷クーラーを組み込む際の注意事項

1. 高さが44mm以下のメモリをご使用ください（G.SKILL Trident Z5 RGBで組付け確認済み）
2. 電源の奥行は140mmまでの製品をご使用ください。

ITX 280 簡易水冷セットアップ例

マザーボード：ITX
CPUクーラー：280mm簡易水冷クーラー
電源：ATX（奥行140mmまで）

グラフィックボード：全長335mm/全幅160mmまで
（前面にケースファンもしくは2.5インチHDDを搭載している場合、より全長の短いグラフィックボードを使用、あるいはケースファンもしくは2.5インチHDDを取り除くことを推奨します）

ケースファン/HDD設置位置

トップ：120mmファン x1 or 140mmファン x1
ボトム：120mmファン x2 or 140mmファン x2 or
120mmファン x1 + 3.5インチHDD x1

（ビデオカードの厚さに応じて、ボトムケースファンとHDDを取り付けるかどうか判断してください）

フロント：2.5インチHDD/SSD x3 or 2.5インチHDD/SSD x2 + 90mmファン/80mmファン x1
（ケースファン/HDDの厚みによってグラフィックカードの設置可能長さが制限される可能性があります）



簡易水冷クーラーを組み込む際の注意事項

1. オプションアクセサリーのアルミ製サイドパネルと、サイドマウントブラケットが必須となります。
2. 電源の奥行は140mmまでの製品をご使用ください。
3. 冷却ヘッドと冷却ファンの干渉を避けるため、小型で円形の冷却ヘッドを有する簡易水冷クーラーのご使用をおすすめします。
4. ラジエーターがケース後方部分も占有するため、リアにはファンを取り付けられません。



Mechanic Master

空冷クーラーまたは240mm簡易水冷クーラーを使用する場合の組立手順

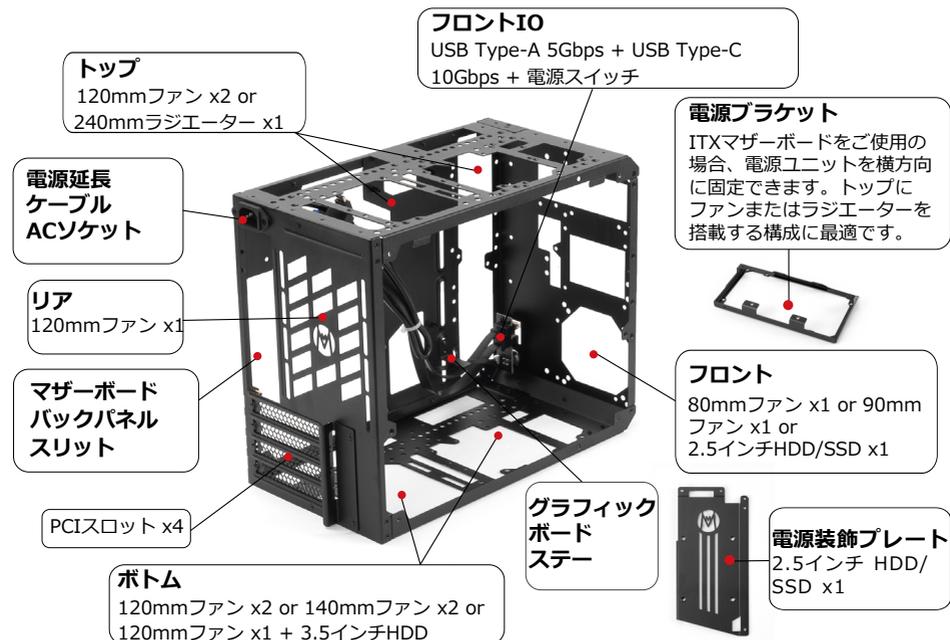
1. 組立前の準備

作業性を確保するため電源装飾プレート、電源ブラケット、ダストフィルターを含む全ての外装パネルおよび構造パーツを取り外します。

※分解の際はネジやパーツを無くさないようご注意ください。



本体フレームへの各パーツ取り付け可能箇所



2. マザーボードの準備 取り付け

1. マザーボードのバックパネルを固定し、マザーボードをフレーム内に配置します。
2. CPU補助電源ケーブルをケース上部の電源延長ケーブルに沿わせながら接続します。
3. ケースファンの電源ケーブルおよびARGBケーブルをマザーボードに接続します。
4. 付属の6mm 平頭ネジでマザーボードを固定します。
5. 電源スイッチ、USB3.0 19ピンケーブル、USB 3.1 Type-Eケーブル、24ピン電源ケーブル、SATAケーブルなど、残りの必要なケーブル類を接続します。



メモリの取り付け

メモリとスロット側の切り欠きを合わせ、レバーが戻るまでメモリを垂直に差し込みます。



M.2 SSDの取り付け

SSDとスロット側の切り欠きを合わせ、熱伝導パッドのフィルムを剥がして取り付けます。

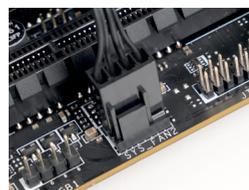
⚠️ 下記箇所が正常に取り付けられていることを再度ご確認ください



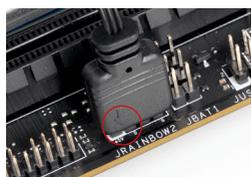
バックパネル



CPU補助電源ケーブル



ファンケーブル



RGB/ARGBケーブル



各種フロントIOケーブル



USB3.0 19ピンケーブル



USB Type-Eケーブル



24ピン電源ケーブル



SATAケーブル

3. CPUクーラーの取り付け

1. CPUクーラー付属の取扱説明書に従いながら、バックプレートの固定など事前準備をします。
2. CPU表面にグリスを塗り広げます。
3. ヒートシンクまたは水冷ヘッドを固定し、各種電源ケーブルおよびRGBケーブルを接続します。
4. お好みで結束バンドなどでケーブルの配線整理をします。(全てのパーツを組み込み、動作確認を終えた後でも構いません)
5. 簡易水冷クーラーの場合、先に水冷ヘッドを取り付けた後ラジエーターを固定することを推奨します。水冷ヘッドとファンの各種ケーブルを接続した後、結束バンドなどで束ねラジエーター背後に隠します。

空冷CPUクーラーの取り付け方法



CPU取り付けとグリスの塗布

CPUの取り付け向きに注意しながらレバーを押し下げます。グリスは塗りすぎないようにしてください。



ファン電源ケーブルの接続

マザーボード側のCPU FANピンヘッダーに接続します。



簡易水冷CPUクーラーの取り付け方法



CPUを固定しグリスを塗布した後、水冷ヘッドの金具を設置します。



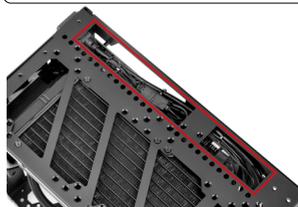
水冷ヘッドを固定します。固定ネジは均等に締め込みます。



ラジエーター固定ネジ位置

推奨ケーブル配線方法

各種ケーブルを上部の穴から背面に引き出し、全てのコネクタが接続されていることを確認し、結束バンドで固定します。



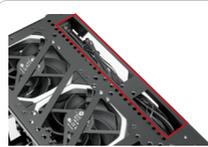
4. ケースファンと3.5インチHDDの取り付け

1. リアとトップに取り付けるファンの電源ケーブルをフレーム上部から引き出し、マザーボード側の各ピンヘッダーに接続します。
2. ファンの回転方向（風向き）に注意しながら、ファンを固定します。
3. 同様の手順でフロントファンや3.5インチHDDも取り付け可能です。

トップ 120mmファン x2 設置箇所



120mmファン 固定穴位置



推奨ケーブル配線方法

各種ケーブルを上部の穴から背面に引き出し、全てのコネクタが接続されていることを確認し、結束バンドで固定します。

ボトム 120mm/140mm ファン x2 設置箇所



120mmファン 固定穴位置



140mmファン 固定穴位置

ボトム 3.5インチHDD 設置箇所



3.5インチHDD 固定穴位置 旧タイプ



3.5インチHDD 固定穴位置 新タイプ

リア 120mmファン x1 設置箇所



120mmファン 固定穴位置

5. 2.5インチHDD/SSDとフロントケースファンの取り付け

1. 空冷クーラーの場合、下記写真に示すケース側面に2.5インチHDD/SSDを取り付け可能です。（厚みが7mm以下の場合には最大2台、厚みが7mm以上の場合には最大1台まで）
2. 240mm簡易水冷クーラーの場合、下記写真に示すケース前面の3箇所にて2.5インチHDD/SSDが取り付け可能です。ただし、電源ユニットのエアフロー確保のため、中央部分には何も取り付けないことを推奨します。
3. ケース前面下部には2.5インチHDDを1台、もしくは90mm/80mmのケースファンを1台取り付け可能ですが、これらの厚みはグラフィックボードの最大許容長さを制限してしまうためご注意ください。（グラフィックボード最大許容長さの335mmからケースファン、もしくは2.5インチHDD/SSDの厚みを引いた数値が、この場合のグラフィックボード最大許容長さとなります）
4. mATX+SFX電源+240mm簡易水冷クーラーを組み合わせた時、ケース底部には厚さ20mmまでのケースファンが取り付け可能です。
5. 空冷、もしくは240mm簡易水冷クーラー+SFX電源を組み合わせた時、電源装飾カバーの裏には、厚みが7mm以下の2.5インチHDD/SSDを取り付け可能です。



ケース側面：2.5インチHDD/SSD 設置箇所

（厚みが7mm以下の場合には最大2台、厚みが7mm以上の場合には最大1台まで）

2.5インチHDD/SSD 固定穴位置

ケース前面：2.5インチHDD/SSD設置箇所



2.5インチHDD/SSD 固定穴位置

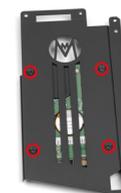
ケース前面：ケースファン設置箇所



80mm/90mmケースファン 固定穴位置

（グラフィックボードの最大許容長さが制限されます）

電源装飾プレート：2.5インチHDD/SSD設置箇所



2.5インチHDD/SSD 固定穴位置

6. 電源ユニットの取り付け

1. 電源ブラケットの角度のついた側がATX電源のファン側を向くように、電源ブラケットをATX電源に取り付けます。(下図参照)
2. SFX電源の場合、下図の向きでSFX電源変換プレート+SFX電源変換プレート+SFX電源を取り付け、その上から電源ブラケットをSFX電源変換プレートに取り付けます。
3. 電源ユニットのスイッチを入れ、電源延長ケーブルを接続します。
4. 電源ブラケットの角度がついた側がケース前面を向くように配置し、穴の位置を確認しながら本体フレームのネジで固定します。
5. あらかじめマザーボードに接続した電源ケーブルや、グラフィックボードの電源ケーブルを含む全ての必要な電源ケーブルを接続し、配線整理をします。

電源ブラケット
固定穴
位置



角度のついた側がATX電源のファン側を向くように取り付けます。

①
SFX電源
変換プレート
固定穴位置



電源ブラケットの角度がついた側がケース前面を向くように固定。

②
SFX電源変換
プレート
+電源
ブラケット
固定穴位置



電源のスイッチを入れ、電源延長ケーブルを接続します。



グラフィックボードの電源ケーブルを含む、全ての必要な電源ケーブルを接続し、配線整理をします。



空冷使用時の電源取り付け箇所と穴位置



簡易水冷 + MATX組み合わせ時のSFX電源固定穴位置



簡易水冷 + ITX組み合わせ時のSFX電源固定穴位置

7. グラフィックボードの取り付け

1. PCIeスロットのロックを押し下げ、グラフィックカードを差し込みます。
2. 平頭ネジでグラフィックボードを固定し、ダストカバーとPCIeスロットカバーを取り付けます。(下図参照)
3. グラフィックボードに電源ケーブルを接続します。
4. 長いグラフィックボードの場合、ケース背面のプレートを取り外すことで組み込みやすくなります。



PCIeスロットのロックを押し下げます。



グラフィックボードを平頭ネジで固定します。



ダストカバーとスロットカバーを取り付けます。



電源ケーブルを接続します。



長いグラフィックボード (332~335mm) の場合、ケース背面のプレートを一時的に取り外すことで組み込みやすくなります。



8. 動作確認

正常に各種ケーブルが配線されているかどうか電源ケーブルを接続し、電源を入れ動作確認します。



9. 配線整理と外装パネルの取り付け

1. 本体フレーム側のタブに電源装飾プレート差し込み、本体フレームのネジで取り付けます。天面にラジエーターを取り付けている場合、電源装飾プレートの左上のネジが固定できない場合がありますが、固定しないままでも問題ありません。
2. 10mm皿ネジを使ってハンドルを取り付けます。
3. ゴムリングの付いていない手回しネジでケース側面にアルミ製サイドパネルを取り付けます。
4. ゴムリング付き手回しネジでケース側面にアルミ製サイドパネルを取り付けます。



足パッド取り付け箇所



ハンドル取り付け箇所



電源装飾プレート
取り付け穴位置

1. 組立前の準備

(この章ではアルミ製サイドパネルとラジエーター用サイドマウントブラケットをご用意ください)

前章の組立前の準備および手順2をご参照ください。

3. 電源ユニットの取り付け

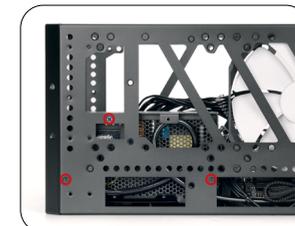
1. 電源ブラケットの角度のついた側がATX電源のファン側を向くように、電源ブラケットをATX電源に取り付けます。(下図参照)
2. ATX電源のスイッチを入れ、電源延長ケーブルを接続します。
3. ATX電源の吸気ファン面を外向きにし、ケース天面にある3つの穴に合うよう確認しながら、本体フレームのネジで固定します。
4. あらかじめマザーボードに接続した電源ケーブルや、グラフィックボードの電源ケーブルを含む全ての必要な電源ケーブルを接続し、配線整理をします。



角度のついた側がATX電源のファン側を向くように取り付けます。



電源のスイッチを入れ、電源延長ケーブルを接続します。



電源取り付け箇所と穴位置



メモリの取り付け
メモリとスロット側の切り欠きを合わせ、レバーが戻るまでメモリを垂直に差し込みます。

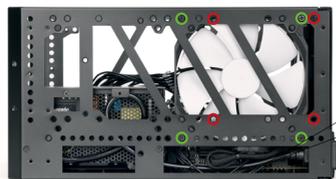


グラフィックボードの電源ケーブルを含む、全ての必要な電源ケーブルを接続し、配線整理をします。

4. ケースファンと3.5インチHDDの取り付け

1. トップに120mmまたは140mmファンを1台取り付けます。電源ケーブルをマザーボードに接続したあと、結束バンドで配線を整えます。
2. 同様の手順でボトムに120mmまたは140mmファンを2台、あるいは120mmファン1台と3.5インチHDDを1台取り付けることが可能です。

トップ 120mm/140mmファン x2 設置箇所



120mm/140mmファン 固定穴位置



推奨ケーブル配線方法
各種ケーブルを上部の穴から背面に引き出し、全てのコネクタが接続されていることを確認し、結束バンドで固定します。

ボトム 120mm/140mmファン x2 設置箇所



120mmファン
固定穴位置



140mmファン
固定穴位置

ボトム 120mmファン x1/ 3.5インチHDD 設置箇所



120mmファン/
3.5インチHDD固定穴位置

5. 2.5インチHDD/SSDとフロントケースファンの取り付け

1. ケース前面には合計3箇所にて2.5インチHDD/SSDを取り付けることが可能です。任意の場所に2.5インチHDD/SSDを取り付けます。
2. ケース前面下部には90mm80mmのケースファンを1台取り付け可能ですが、これらの厚みはグラフィックボードの最大許容長さに影響するためご注意ください。

フロント 80mm/90mmファン + 2.5インチHDD/SSD x2 or 2.5インチHDD/SSD x3 設置箇所

(フロントファンの厚みはグラフィックボードの最大許容長さに影響します)

80mm/90mm
ケースファン
固定穴位置



2.5インチ
HDD/SSD
固定穴位置



6. グラフィックボードの取り付け

1. PCIeスロットのロックを押し下げ、グラフィックカードを差し込みます。
2. 平頭ネジでグラフィックボードを固定し、ダストカバーとPCIeスロットカバーを取り付けます。(下図参照)
3. グラフィックボードに電源ケーブルを接続します。
4. 長いグラフィックボードの場合、ケース背面のプレートを取り外すことで組み込みやすくなります。



PCIeスロットのロックを押し下げます。



グラフィックボードを平頭ネジで固定します。



ダストカバーとスロットカバーを取り付けます。



電源ケーブルを接続します。



長いグラフィックボード (332~335mm) の場合、ケース背面のプレートを一時的に取り外すことで組み込みやすくなります。



7. 280mm 簡易水冷クーラーの取り付け

1. 簡易水冷クーラーの取扱説明書に従いながら、バックプレートの固定など事前準備をします。
2. CPU表面にグリスを塗り広げたあと、水冷ヘッドを固定します。
3. 各種電源ケーブルおよびRGBケーブルを接続し、お好みで結束バンドなどでケーブルの配線を整理します。
4. ラジエーター側のチューブがフレームのリア側に位置するように、ラジエーターをラジエーター用サイドマウントブラケットに取り付けます。
5. 次の図のようにチューブを水冷ヘッドに巻きつけながら、ラジエーターをフレームに収めます。
6. 本体フレーム側のタブに注意しながら、本体フレームのネジでサイドマウントブラケットを取り付けます。



水冷ヘッドの金具を設置します。



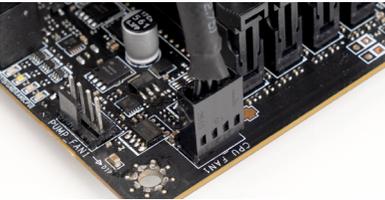
CPUを固定しグリスを塗布します。



水冷ヘッドを固定します。
固定ネジは均等に締め込みます。



水冷ヘッドの電源ケーブルをマザーボード側の「PUMP FAN」ヘッダーに接続します。



冷却ファンの電源ケーブルをマザーボード側の「CPU FAN」ヘッダーに接続します。



ラジエーターをラジエーター用サイドマウントブラケットに固定します。



チューブを水冷ヘッドに巻きつけながら、ラジエーターをフレームに収めます。



ブラケットをフレームに固定します。

8. 動作確認

正常に各種ケーブルが配線されているかどうか電源ケーブルを接続し、電源を入れ動作確認します。



9. 配線整理と外装パネルの取り付け

1. 内部の配線を結束バンドで整えます。
2. 本体フレームのネジで外装パネルを固定します。
3. 10mm皿ネジを使ってハンドルを取り付けます。
4. ゴムリング付き手回しネジでケース両側にアルミ製サイドパネルを取り付けます。



グラフィックボードをご使用の場合、映像ケーブルはマザーボード側ではなく、グラフィックボード側の端子に接続してください。



電源ケーブルは奥まで正しく差し込まれていることを確認してください。



本製品は、予告なくデザイン・仕様等を変更することがあります。
本取扱説明内の画像は参考用であり、実際の製品に従って作業を行ってください。